

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト

修正履歴:150407通しNo.210学名、150515通しNo.103学名

<哺乳類・鳥類>

選定理由

- I. 生態系被害が大きいもの。
II. 生物多様性保全上重要な地域に侵入し、問題になっている又はその可能性が高い。
III. 生態系被害のほか、人体や経済・産業に大きな影響を及ぼすもの。
IV. 知見が十分でないものの、近縁種や同様の生態を持つ種が明らかに侵略的であるとの情報があるもの、又は、近年の国内への侵入や分布の拡大が注目されている等の理由により、知見の集積が必要とされているもの。

対策優先度の要件

- ①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大である。
②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い。
③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い。
④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対して甚大な被害を及ぼす。
⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

備考欄の\*印：旧要注意外来生物

セルの色分け凡例
[紫塗りセル] : 特定外来生物に指定済み

【国外由来の外来種】

※対策優先度の要件は緊急対策外来種・重点対策外来種のみ記入 2015.03.26

Table with columns: 通しNo., 分類群, 和名, 学名, 選定理由, 定着段階, 対策優先度の要件, 備考. Rows are categorized into sections: 定着を予防する外来種 (定着予防外来種), 緊急対策外来種, 重点対策外来種, その他の総合対策外来種.

通し No.	分類群 No.	分類群	和名	学名	選定理由	定着段階	対策優先度の要件※		備考
							被害の深刻 度	実効性・実行 可能性	

**【国内由来の外来種、国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】**

通し No.	分類群 No.	分類群	和名	学名	選定理由	定着段階	対策優先度の要件		備考
							被害の深刻 度	実効性・実行 可能性	

**総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)**

<b>緊急対策外来種</b>									
210	1	哺乳類	伊豆諸島などのニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	I, III	国内由来の外来種	①	⑤	
<b>重点対策外来種</b>									
211	2	哺乳類	奥尻島・屋久島のタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>	I, III	国内由来の外来種	①		
212	3	哺乳類	北海道・佐渡のテン	<i>Martes melampus</i>	I	国内由来の外来種	①		
213	4	哺乳類	対馬以外のチョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	I	国内由来の外来種	①		
214	5	哺乳類	徳之島などのニホンイノシシ	<i>Sus scrofa leucomystax</i>	I, III	国内由来の外来種	①②		
215	6	哺乳類	新島などのニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>	I, III	国内由来の外来種	①④		